

| 船主   | 船名    | 月日    | 解決条件  |
|------|-------|-------|---|
| 五光商會 | 天光丸   | 四月二十日 | 原則として乗組員は引續き乗船せしむる事、引續き乗船する者には勤続年限に應じ最低各自半ヶ月分最高各自一ヶ月分の手當支給、下船者には賃各自二十圓支給                                      |
| 阿波共同 | 第六共同丸 | 六月二十日 | 一ヶ年未満一ヶ月半分、二ヶ年未満一ヶ月四分の三分、以上一ヶ年を増す毎に四分の一増額旅費八圓支給   |
| 粟林商船 | 神祐丸   | 六月二十日 | 乗船の先取特権を與ふ。一ヶ年未満一ヶ月分、一ヶ年を増す毎に四分の一増額但し一ヶ月を越す場合も一ヶ年の割にて支給、六月分全給料支給旅費各自十五圓外に酒肴料として金一封支給                          |
| 清水合資 | 孟買丸   | 十月四日  | 各自一ヶ月分支給  |
| 東和汽船 | 東和丸   | 七月廿七日 | 一ヶ年迄一ヶ月分、一年を増す毎に四分の一増額、五年以上の者には金一封として給料の八分の一支給外に一ヶ年當り五圓旅費三十一圓支給   |
| 島谷汽船 | 長成丸   | 七月廿七日 | 一ヶ年迄一ヶ月分と四分の一、以上一ヶ年を増す毎に四分の一増額、旅費三十圓支給  |
| 朝鮮郵船 | 咸鏡丸   | 七月廿三日 | 三ヶ年上二ヶ月分、四年以上二ヶ月四分の一分、六年以上三ヶ月分、八年以上三ヶ月半分支給、乗船優先権を與ふ   |
| 國際汽船 | 吳山丸   | 三月廿八日 | 全員に給料の一ヶ月分、下船者には勤続手當五ヶ月分支給、更に水、火司長、大工、舵夫、油差四ヶ月後、尙乗船出来ぬときは外に一ヶ月分支給、其他は三ヶ月後尙乗船出来ぬときは一ヶ月分支給、歸國旅費支給、希望者は任意殘留する事を得 |

○遭難手當に関する交渉

| 船主   | 船名  | 月日    | 解決条件  |
|------|-----|-------|---|
| 栗林商船 | 大連丸 | 五月十六日 | 流失品手當及失業手當を海事協同會規定通り支給、雇入地迄の旅費、及作業服一着宛又三ヶ年以上勤続者には一ヶ月分の特別手當支給、尙全員に乗船の優先権を附與す |
| 藤村篤治 | 宙神丸 | 六月一日  | 失業手當として一ヶ月と二十日分、流失品保償手當として全員に對して四百圓、旅費各自雇入地迄外に辨當料、小荷物料概算支給                  |

○繋船解散手當に関する交渉

| 船主   | 船名   | 日時    | 交渉理由   | 解決条件 |
|------|------|-------|--|------|
| 佐藤商會 | 大日丸  | 七月廿四日 | 失業手當として四ヶ月分、旅費二十圓支給  |      |
| 高橋文治 | 福陽丸  | 九月一日  | 船主支拂不能の状態にあり失業手當二ヶ月分及雇入地迄の旅費支給   |      |
| 新越汽船 | 新越丸  | 七月十一日 | 失業手當として三ヶ月分流失品は各自所有品別調査の上新品評價により支給す                                      |      |
| 三寶汽船 | 龍神丸  | 七月十一日 | 失業手當一ヶ月半分、流失品手當三ヶ月分、旅費實費、臺灣より門司迄の間給料支給                                   |      |
| 泰運汽船 | 福丸   | 七月廿一日 | 前月の不拂給料及十一月二十一日迄の給料及失業手當二ヶ月分支給、流失品なき故流失品手當なし、旅費十五圓支給                     |      |
| 島谷汽船 | 須磨丸  | 一月十七日 | 失業手當二ヶ月分洗濯料として五十圓、旅費十六圓支給  |      |
| 中外汽船 | 玉穂丸  | 一月十四日 | 失業手當二ヶ月分、流失品手當三ヶ月分、旅費各十五圓支給  |      |
| 成宮汽船 | 興和丸  | 一月廿八日 | 失業手當二ヶ月分、旅費各自十五圓支給   |      |
| 三寶汽船 | 高砂丸  | 三月十日  | 流失品手當三ヶ月分失業手當二ヶ月分旅費各十二圓支給  |      |
| 日盛海運 | ガロン號 | 四月廿五日 | 下船手當として一ヶ月分、慰勞金として半ヶ月分支給   |      |
| 笠原商事 | 越後丸  | 五月十三日 | 乗船一ヶ年未満一ヶ月四分の一、以上一ヶ年増す毎に四分の一増加、旅費十圓外に金一封として七十五圓支給                        |      |
| 町田汽船 | 瑞鳳丸  | 六月九日  | 下船手當として一ヶ月分、全部支那人なる故青島迄の旅費支給   |      |
| 藤山海運 | 東照丸  | 六月九日  | 一ヶ年未満一ヶ月分、一ヶ年以上三ヶ年迄一ヶ月半分、二ヶ年以上三ヶ年迄一ヶ月四分の三、三ヶ年以上二ヶ月分、新會社創立當時より乗船せるもの二ヶ月半分 |      |